会社概要 (2019年3月31日現在)

会社名	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月	1958(昭和33)年3月
本店所在地	兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号 (東京本社)東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
資本金	54億2,403万円
従業員数	3,047名(連結)
証券コード	2915(東京証券取引所市場第一部)
ホームページ	www.kenkomayo.co.jp

役員一覧 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	炭井 孝志	常勤監査役	阿萬 浩二
取締役 専務執行役員	木佐貫 富博	常勤監査役	千葉 豊
取締役 常務執行役員	寺島 洋一	社外監査役	田原 常之
取締役 常務執行役員	伊藤 和敬	社外監査役	白井 隆明
取締役 執行役員	京極 敦	社外監査役	渡辺 仁司
社外取締役	櫻本 和美		
社外取締役	今城 健晴		
社外取締役	三田 智子		

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	33,500,000株
発行済株式総数	16,476,000株
株主数	8,982名

大株主

株主名	当社への出資状況 持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,547,400	9.39
株式会社ティーアンドエー	1,407,600	8.54
第一生命保険株式会社	757,000	4.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	630,600	3.83
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE HCR00	629,100	3.82
日本生命保険相互会社	577,200	3.50
株式会社三井住友銀行	559,200	3.39
株式会社三菱UFJ銀行	559,000	3.39
キッコーマン株式会社	491,000	2.98
一般財団法人旗影会	450,000	2.73

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会 3月31日 期末剰余金配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<杉並> 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 配当金計算書について
配当金支払の際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」をかねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

IRカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	期末決算発表 決算説明会	招集通知 発送 株主優待 発送		定時株主総会 期末配当通知 発送 株主通信 発送	第1四半期決算発表	第2四半期決算発表	決算説明会	中間配当通知 発送 株主通信 発送		第3四半期決算発表	

WEBサイトのご紹介

当社の最新情報・詳細情報は
コーポレートサイトをご覧ください。

www.kenkomayo.co.jp
スマートフォンからは
左記のQRコード読取により
アクセスいただけます。

個人投資家向け

ケンコーマヨネーズの実は…
事業のポイントや、当社の特長であるメニュー提案、サラダ料理についてなど、当社概要をわかりやすくご紹介しています。
www.kenkomayo.co.jp/ir/kojin

商品サイト

商品やレシピを見やすくサイトを一新
商品を活用したプロレシピを充実させ、キーワード検索ができるようになりました。商品の購入はこちらから! ぜひご確認ください。
www.kenkomayo.com

本冊子は環境に配慮した製本方式を採用しています。
前回の株主通信より、針金を使用しない「両観音折り」に製本方式を変更しました。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

UD FONT

KENKO REPORT ケンコーレポート 第63期第2四半期
証券コード 2915 2019年4月1日~2019年9月30日
ケンコーマヨネーズ株式会社
〒168・0072 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
電話/03・5318・7531(広報室直通) 03・5962・7777(代表)

KENKO REPORT vol.17

ケンコーレポート 第63期第2四半期 2019年4月1日~2019年9月30日

障がい者アーティスト sato氏/作
作品名「幸せのレシピ」

Paralym Art®

ケンコーマヨネーズはパラリンアートを応援しています

パラリンアートとは
障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、彼らのビジネス支援を行う活動です。

KENKO ケンコーマヨネーズ株式会社

4工場の安定稼働及び グローバル化の推進を軸に 下期以降も取り組みを 進めてまいります。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまでグループ生産拠点構想に基づく4つの工場の新設・増築が無事に完了し、順調に稼働を続けております。今期以降の成長の原動力とし、持続的な成長・発展を目指してまいります。

代表取締役社長　炭井孝志

Q 上期業績の振り返りについてお聞かせください

調味料・加工食品事業につきましては、サラダ・総菜類で主力商品の1kg形態のポテトサラダや素材をいかしたチルドポテトが好調に推移しました。一方で、タマゴ加工品につきましては、天候不順等の要因による消費の低迷や、メニュー採用数の減少により、コンビニエンスストア向けのタマゴサラダ等が減少し、調味料・加工食品事業では減収となりました。

一方で、総菜関連事業等につきましては、前連結会計年度より稼働を開始したダイエットクック白老新工場や関東ダイエットクック神奈川工場が順調に稼働したことで増収となり、当第2四半期連結累計期間の当社業績は、増収・増益で着地いたしました。

Q 中期経営計画の進捗はいかがでしょうか

2018年4月よりスタートしました中期経営計画「KENKO Value Action ～価値の創造～」では、中核をなす基本方針として「CSV経営」を掲げ、事業規模の拡大と収益力の向上を実現するとともに社会的責任を果たすことで「サラダNo.1企業」として成長・発展し続けることを目指しております。「CSV経営」では5つのテーマを掲げており、そのうち「地域貢献」では、地域雇用の促進を目的に、全国の拠点において人財の採用を積極的に行っております。また「環境・資源」というテーマでは、廃棄物ゼロを目指した活動を推進しており、当社の製造拠点における廃棄物のリサイクル率は、昨年度 本体工場で100%を維持し、連結子会社では約90%まで高まっております。

我々、業務用食品メーカーが置かれている事業環境は、少子高齢化や人口減少、中食市場の拡大、インバウンド需要の高まりなど年々複雑かつ多様に変化しております。そうした変化をいち早く察知し、今後の持続的成長・発展に向けての布石とするべく様々な取り組みを進めております。

グループ生産拠点構想につきましては、4つの工場の新設及び増築が無事に完了し、現在は順調に稼働を続けております。特に、ダイエットクック白老新工場で製造している素材系冷凍・チルドポテトは、外食業態を中心にお客様から高い評価をいただいております。袋から出すだけで、調理オペレーションの簡略化を図れる素材系商品は、今後ますます人手不足が深刻化するであろう国内市場において、更なる販売拡大が期待できると考えております。

グループ生産拠点構想が無事完了したことで、生産体制の強化、生産能力の平準化を目指すことはもちろんのこと、働き方改革の推進、地域への貢献、また環境に配慮した工場づくりも、より一層進めてまいります。

当社にとって大きなテーマであります「グローバル化」については、社内の組織を活性化させながら国内を中心に展開していた当社の企業体質をグローバルにシフトすべく、現在はその基盤を構築している段階です。

訪日外国人観光客数は2019年度も引き続き増加しており、インバウンド需要は拡大を続けております。国内は人口減少に伴い市場が縮小傾向にある中、インバウンド需要及び海外市場に活路を見出すことは、業務用食品メーカーである我々が今後更なるステージへ進むために必要不可欠であると考えます。そのためのステップアップとして、中期経営計画では「サラダ料理を世界へ」と銘打ち、2019年度も様々な取り組みを進めております。

海外展示会への出展や視察などのリサーチ活動から、多様化する世界の食トレンド、食材、文化等の情報を国内にフィードバックし、商品・メニュー開発等にいかす取り組みを続けております。上期に発売した「ジャーマンカリーケチャップ」や昨年度発売した「やさいと大豆ミート」シリーズは、リサーチ情報を元に開発した商品となります。

また、グローバルに活躍できる人財の育成も進めております。海外での語学研修の推進や社内における語学学習の啓蒙活動の実施、組織体制の強化を進めグローバル人財の輩出に向けた基盤づくりを着々と進めております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします

株主の皆様にはいつもご支援賜り、誠に感謝申し上げます。

おかげさまで、グループ生産拠点構想における4つの工場すべての新設及び増築に関わる工事が無事完了し、今期は着々と生産数量を拡大している段階です。今後、既存工場及び4つの工場をフル活用しながら、販売数量を拡大させ、業績を向上させてまいりたいと考えております。

また、将来の持続的成長・発展のためには過去の慣例にとらわれることなく、幅広く、自由な発想で新たな可能性を模索することが株主様をはじめステークホルダーの皆様から求められていると感じております。

今後も、様々な可能性を追求してまいりますので、株主の皆様におかれましては、我々の挑戦へご期待いただくとともに引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

新商品のご案内 7月に業務用の新商品7品を発売しました。

「人手不足の問題に応えた調理の簡便化に役立つ商品」として、素材をいかした手作り感のあるものや、使い切りやすい小型形態を取り揃え、積極的に拡販してまいります。

Pick UP!

ジャーマンカリーケチャップ (600g)

世代を問わず人気を集めるカレー風味のケチャップです。トマトの濃厚な旨味をベースにスパイスをきかせ、後を引く美味しさに仕上げました。マンゴーチャツネでフルーティーな甘味とコクを与えています。

活用レシピ　**スパイシーカレーピラフ**

材料(2人分)
- 米 …… 1合
- ジャーマンカリーケチャップ …… 60g
- ウインナーソーセージ(ぶつ切り) … 100g
- パプリカ(赤)(1.5cm角切り) …… 1/2個分
- ズッキーニ(1.5cm角切り)…… 1/2本分
- たまねぎ(みじん切り) …… 30g
- バター …… 10g

❶炊飯器に米と、水(分量外)を1合目の目盛りまで入れ、そこにジャーマンカリーケチャップを加え、混ぜ合わせる。
❷❶に、ウインナーソーセージ、パプリカ、ズッキーニ、たまねぎ、バターを入れて、炊飯する。
❸炊飯後、全体を混ぜ合わせ、皿に盛り付ける。

KENKO NOW

お知らせ

ドレッシングの日 PRキャラクターが誕生!

当社では、8月24日をドレッシングの日として制定。2016年に一般社団法人 日本記念日協会に登録されました。このたび生まれたドレッシングの日をPRするキャラクター「どれしぃ」は、ドレッシングの日が多くの人に認知され、記念日として盛り上がるよう、展示会やコーポレートサイトなどに登場し、幅広く情報発信を行ってまいります。

～どれしぃ Profile～

ケンコーマヨネーズのドレッシングが大のお気に入り！ドレッシングのおいしさをもっと広めたい、という思いから誕生しました。野菜の上にかけようとした時にこぼれた一滴のドレッシングがモチーフ。色々なドレッシングに変身することができます♪

どれしぃ

なぜ8月24日がドレッシングの日？

ドレッシングは野菜にかけて使うことが多いので、「野菜（831）にかける」8×3×1＝24で24日に。またカレンダーの「野菜の日（8月31日）」の真上にくる日が毎年必ず8月24日であることから、野菜にドレッシングをかける様子をイメージして、この日を記念日としました。

8月のカレンダー

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ココ!

野菜の日

ドレッシングの日特設ページ「ドレッシングの教科書」

URL www.kenkomayo.co.jp/aboutfood/drschool/text

CSR

セカンドハーベスト・ジャパン活動への参加

当社は、2007年からセカンドハーベスト・ジャパン※(認定NPO法人)のフードバンク活動に賛同し、当社製品を寄贈している他、炊き出し準備やお弁当作りなどのボランティア活動にも定期的に参加しています。

8月に当社社員がボランティア活動に参加し、食品のピッキングと配布、学習支援教室へ提供するお弁当作りを行いました。

今後も当社製品の寄贈やボランティア活動などに協力し、セカンドハーベスト・ジャパンの活動を支援し続けてまいります。

※セカンドハーベスト・ジャパンは、日本で初めてフードバンク活動を開始した団体で、食品メーカーや農家、個人等から、品質に問題がなくまだ充分に食べることができるにも関わらず廃棄される予定の食品を引きとり、児童養護施設や支援を必要としている家庭等に届ける活動を行っています。

お弁当作りの様子

ニュース

「食品産業 平成貢献大賞」を受賞!

同賞は「平成」の30年間に、食文化の醸成、技術革新、新規需要創出などで食品業界の発展に貢献した企業を表彰するもので、日本の食品産業の価値向上に寄与した食品製造業や卸売業、機械・資材・素材メーカーなど265社が受賞しました。(株式会社日本食糧新聞社制定)

当社は、発売から40年を超える業界初のロングライフサラダ『ファッションデリカフーズ※』をはじめ、タマゴ加工品、和惣菜など多彩なラインナップで外食産業の多様化、中食産業の急成長を支えたことや、環境負荷の軽減にも注力し、自社工場での高度なゼロエミッションを実現したことが評価され、受賞となりました。

※「ファッションデリカフーズ／FDF」は当社の登録商標です。

先生の説明

マヨネーズ作りに取り組む子どもたち

CSR

食育活動

英語学習型の学童保育・幼児教育施設「Kids Duo」荻窪南校の野外授業の一環として、8月に食育活動を実施しました。当社社員が先生となり、約30名の子どもたちに野菜やマヨネーズの材料、作り方を英語で説明しました。先生のお手本を見ながら、子どもたちもそれぞれマヨネーズ作りやマヨネーズを使ったアートウィッチ※とサラダの調理に挑戦!市販品と手作りマヨネーズの見た目や味の違いなどに興味深々の様子で、「自分で作ったからおいしい」「家でも作ってみたい」との声があがりました。今後もこうした食育活動や地域に向けた社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

※「ARTWICH／アートウィッチ」は当社の登録商標です。

IRインフォメーション

個人投資家向けIR説明会を開催しました

7・8月に、個人投資家向けIR説明会を4回開催しました。各会場では、執行役員 広報室長の田村が登壇し、会社概要、中期経営計画、前期決算概要及び今期の見通し、株主還元等についてご説明しました。個人投資家の皆様に当社事業をご理解いただき、ファンになっていただけるよう、今後も積極的にIR活動に注力してまいります。

各説明会の資料はこちらからご確認ください。

URL www.kenkomayo.co.jp/ir/kabunushi/corpdata

SMBC日興証券

開催場所	高岡支店、金沢支店
参加者数	両会場 計約80名

7月

岡三証券

開催場所	新宿支店
参加者数	約130名

7月

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

開催場所	丸の内本店
参加者数	約110名

8月

詳しい財務情報は当社のIRサイト(株主・投資家情報)をご覧ください。 www.kenkomayo.co.jp/ir ケンコーマヨ IR 検索

当第2四半期のポイント(連結)

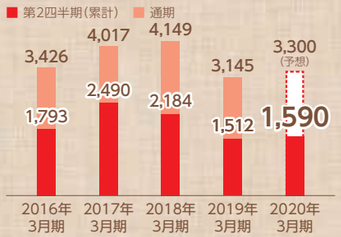
【売上高】
- 前連結会計年度より稼働を開始したダイエットクック白老新工場及び関東ダイエットクック神奈川工場の伸長により売上高増加

【経常利益】
- 静岡富士山第2工場及び西日本工場(増築)の稼働に伴う固定費の増加
- ダイエットクック白老新工場及び関東ダイエットクック神奈川工場の収益改善が進んだことにより増益

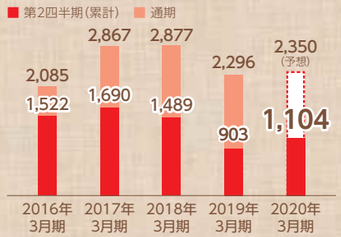
●連結財務ハイライト(単位:百万円)

売上高

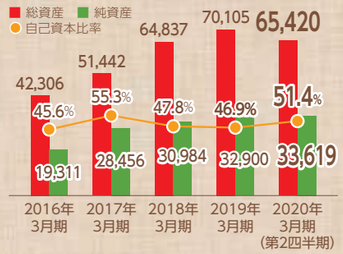
経常利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



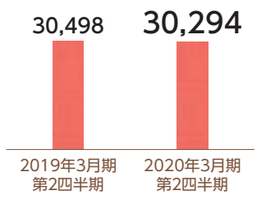
総資産・純資産/自己資本比率



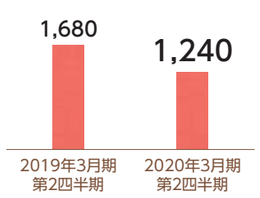
セグメント別営業概況(連結)

調味料・加工食品事業 80.2%

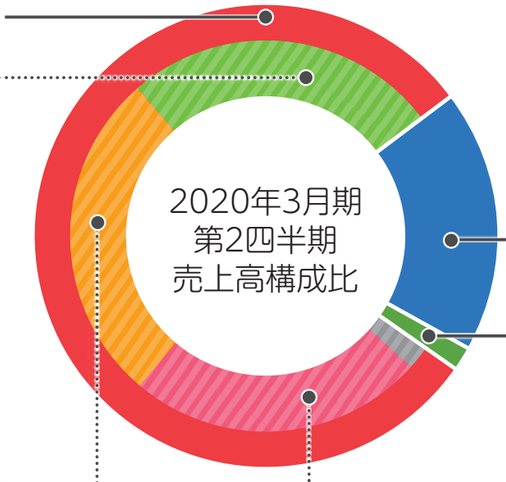
●売上高
30,294百万円
(単位:百万円)



●セグメント損益
1,240百万円
(単位:百万円)



主な事業内容 サラダ・総菜類(ポテト/ごぼう/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類の製造・販売



サラダ・総菜類
売上高9,862百万円

ポイント
- 1kg形態のポテトサラダや素材をいかしたチルドポテトが好調に推移
- 大豆ミートを使用した商品が外食向けに採用増

まるごと北海道®ポテトサラダ さやか

やさいと大豆ミートのキーマカレー

タマゴ加工品
売上高10,422百万円

ポイント
- 天候不順等の要因による消費低迷やメニューの減少によりコンビニエンスストア向けのタマゴサラダ等が減少

グッドテイストタマゴサラダ

惣菜亭®厚焼き卵

マヨネーズ・ドレッシング類
売上高9,260百万円

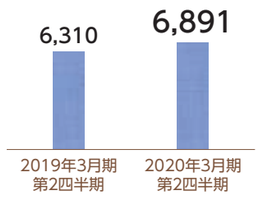
ポイント
- ファストフード向けのソースやスーパー向け袋タイプのマヨネーズが伸長

ガーリックバターソース

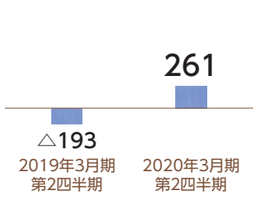
HSマヨネーズタイプ

総菜関連事業等 18.3%

●売上高
6,891百万円
(単位:百万円)



●セグメント損益
261百万円
(単位:百万円)

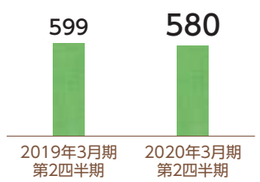


ポイント
- ダイエットクック白老新工場や関東ダイエットクック神奈川工場の伸長により売上高増加
- 主力のポテトサラダの販売が好調

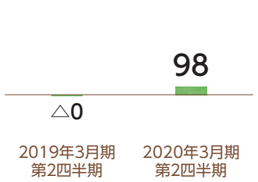
主な事業内容 国内の連結子会社7社が行う事業
フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

その他 1.5%

●売上高
580百万円
(単位:百万円)



●セグメント損益
98百万円
(単位:百万円)



主な事業内容 ショップ事業(Salad Cafeショップ)及び海外事業※
※海外事業は持分法適用会社のため売上高には含まれません。

Xmasグリーンサラダ